



Japanisch-Deutsche Gesellschaft

Die Brücke 架け橋

日独協会機関誌



2024 8

表紙の言葉

ベルリンと東京は、1994年5月に友好都市となりました。今年には友好都市提携から30周年。これを記念し、ドイツ大使館の外壁には表紙の写真のような壁画が施されています。

Zum Titelbild

Berlin und Tokio haben im Mai 1994 eine Städtepartnerschaft geschlossen. Dieses Jahr wird das 30-jährige Bestehen dieser Partnerschaft gefeiert. Zu diesem Anlass ist die Fassade der deutschen Botschaft aktuell mit einer Malerei verziert, welche auf der Titelseite abgebildet ist.

| 目次 | ページ / Seite | INHALT |
|---|-------------|---|
| ベルリン独日協会新会長ご挨拶 マルティン・エーベルツ | 1 | Grußwort des neuen Präsidenten der Deutsch-Japanischen Gesellschaft Berlin Martin Eberts |
| 6月の協会活動方向 | 2 | JDG-Aktivitäten im Juni |
| レポート：若手会員のためのサマーパーティ | 4 | Bericht: Sommer Party für junge Mitglieder |
| 2023年度 公益財団法人日独協会 事業報告 森 宏之 | 5 | Geschäftsbericht der Japanisch-Deutschen Gesellschaft 2023 Hiroyuki Mori |
| 2023年度 公益財団法人日独協会 決算報告 / 2024年度 役員リスト | 6 | Finanzbericht zum Geschäftsjahr 2023 / Liste der Vorstandsmitglieder |
| 2024年 独日協会連合会総会参加報告 柚岡 一明 | 7 | Bericht zur Verbandstagung der Deutsch-Japanischen Gesellschaften Kazuaki Yuoka |
| ベルリナー・ルフト：ドイツで開催されているサッカー欧州選手権 – 夏のおとぎ話 2.0? Dr. ヴェレーナ・マテルナ | 8 | Berliner Luft: Die Fußball-Europameisterschaft in Deutschland – ein Sommermärchen 2.0? Dr. Verena Materna |
| 私とドイツ 中村 一行 | 9 | Deutschland und ich Kazuyuki Nakamura |
| Flo's コラム：カフェと喫茶店とは別物 高山 フロリアン | 10 | Flos Kolumne: Café ist nicht gleich Kissanen Florian Takayama |
| ドイツ経済の動き 第88回 伊崎 捷治 | 11 | Tendenz der deutschen Wirtschaft (88) Shoji Isaki |
| 文化の玉手箱 書籍紹介『検証 ナチスは「良いこと」 もしたのか?』 小野 竜史 | 12 | Kulturkiste Eine Buchvorstellung „Haben die Nazis auch Gutes getan?“ Tatsuhito Ono |
| お知らせ 事務局 | 13 | Informationen Sekretariat der JDG |

**ブローツァイト (パンの時間)
Brotzeit**

6/7(金) 18:30 ~ 20:30 / 日独協会セミナールーム
Datum: Fr., 7. 6. 24, 18.30-20.30 / Ort: Seminarraum der JDG
菊池 菜穂子 (日独協会職員)



説明するフロリアンさん

趣味の域を越えているといってもよいくらいドイツパン作り研究に情熱を注いでいる研修生フロリアンさんの企画で、ドイツパンを紹介し実際に味わうイベント「Brotzeit」を開催しました。当初は5月31日の開催を予定していましたが、悪天候の予報が出たため、参加者の安全に鑑み、1週間延期しての開催となりました。

イベントではまず、ドイツパンの歴史、地方によって異なる特徴、種類と使用する材料、サワー種というドイツパンには欠かせない天然酵母について、パワーポイントを使った説明がありました。説明の最後に実際にフロリアンさんのパン作りを撮影した動画を見せながら工程を紹介。材料を混ぜるところから、繰り返し捏ねて発酵させる過程があること、発酵具合のチェックなど、その工程のすべてに美味しくするための理由が詰まっていることに驚きました。説明を聞いた後はいよいよ

試食タイム。たくさんの種類のドイツパンを詰めた「ドイツパンセット」の袋を皆さんに配りました。パンは大岡山にあるドイツパン屋「Schomaker」さんのパンでしたが、フロリアンさん手作りのBrötchen (小さな食卓パン) も全員に1つずつ配られました。まずはパン自体の味を楽しんでいただき、それから用意したハム、ソーセージ、チーズ、バター、ぬるもの(ヌテラ、フムスなど)などを自由にあわせて食べてもらいました。ドイツパン作りの工程を見てからの試食でしたので、噛めば噛むほど、パン作りに詰まったこだわりが風味となって立ち上がってくるように感じました。20名の参加者の皆さんそれぞれの「Brotzeit (パンの時間)」を楽しんでいただきイベントは終了。当日はフロリアンさんがドイツから持ってきたサワー種が希望者に販売されましたが、後日そのサワー種を使って作られたパンの写真が参加者の方々から届きました。事務局でもドイツパン作りを始めたスタッフがいて、フロリアンさんの「ドイツパン布教」は成功したようです。



試食タイム



たくさんの種類を試食しました

ドイツ語講習会

2024 年度上半期コース

火～日曜日

Deutschkurse in der JDG

April 2024 - September 2024

jeden Di.-So.

ドイツの詩をドイツ語で朗読する会

6/11(火) 19:00 ~ 20:00

ベヒシュタイン・セントラム

Lesung deutscher Gedichte

Datum: Sa., 11. 6. 24, 19.00-20.00

Ort: C.Bechstein Centrum Tokyo

ドイツの詩をドイツ語で朗読する会に初めて参加しました。会場には、ピアノの前に譜面台が置かれ、一人一人がプログラムに沿って順に詩を朗読します。プログラムには日本語の訳があり、読みながら聴いていると情景が浮かんできます。「女の愛と生涯」をはじめ、愛を歌った作品が多く、一つ一つの言葉に感情を込めて朗読します。参加された方の多くは藤田明先生の合唱団のメンバーの方で、ドイツリートを楽しみながら歌われているようでした。私は声楽を勉強しており、ディクッション(声楽等に

ける言葉の発音法)の練習は経験していますが、ここまでの緊張感、モチベーションの上がりには久しぶりのことでした。最後は藤田先生の「森の語らい Waldesgespräch」で幕を閉じましたが、先生の声の響きは会場だけでなく、心に響き渡りました。気持ちが高揚し、なんとか抑えながら家路に着きましたが、改めてドイツ語のもつ魅力を味わうことができたことに感謝いたします。(河原美奈子)

ドイツ時事問題研究会 第100回

6/15(土) 15:00 ~ 17:00

Studiengruppe "Deutschland aktuell" (100)

Datum: Sa., 15. 6. 24, 15.00-17.00

「当月のトピックス」では、①2023年のドイツ国籍取得者がこれまで最多の20万人あまりを記録、②現役の平均所得の48%の年金水準の維持を目的に、原資に株式を組み込む法改正を閣議決定、③2024年第1四半期の実質賃金が3.8%の上昇、④第1四半期の発電に占める再生可能エネルギーの割合がこれまで最高の58.6%を記録。⑤EU委員会が中国製電気自動車に相殺関税の賦課を決定、⑥欧州議会選挙を前に国内各地で民主主義擁護、反極右主義のデモなど、1か月間に記録した数多くの出来事の

中から主なものを紹介し、質疑応答を行った。

「今月のテーマ」では、選挙後の欧州議会について「右傾化が進んだか」と題して選挙の仕組みや中道会派が過半を制した状況を新井氏から報告した。

最後に伊崎から「基本法 75 年」と題して、州選出代表による憲法制定会議の形成から自主性の強い基本法が成立するまでの過程について報告した。(伊崎 捷治)

.....

シュプラットレッフ (日独言語交換会)

6/15 (土) 19:00 ~ 20:40

Sprachtreff

Datum: Sa., 15. 6. 24, 19.00-20.40

参加 40 名。最初にスタッフから協会やイベントの流れについて簡単に説明した後、小グループに分かれて言語交流を楽しみました。B1 レベルまでのグループにはタイムキープや会話のお手伝いをするサポーターがつきますが、参加者どうしが自由に会話を展開するのが理想の形です。

前回から参加者に事前にくつつかのトピックをお伝えし、写真や現物などがあればそれを見せながら話せるよう準備していただいています。今回のトピックは①ドイツ/日本のここが好き! ②私の趣味 ③その他、でした。多くの参加者は写真や物を準備し、当日それについてドイツ語や日本語で説明しました。このやり方は好評なので続けたいと思いますが、上級のグループは写真などがなくても会話が盛り上がっていましたので、トピックを使うかどうか参加者に任せています。

最近、参加者の中から会の運営をお手伝いしてくださる方が出てきて、ありがたく思っています。Sprachtreff はほとんどボランティアによって運営されています。小グループで会話する際のサポーターとして等、お手伝いしていただける方がいましたらぜひ事務局までご一報ください。

.....

独逸塾

4/15 (月) 19:00 ~ 21:00

Gesprächskreis: Neuigkeiten aus Deutschland

Datum: Mo., 15. 4. 24, 19.00-21.00

参加 23 名。

テキストは 2024 年 2 月 1 日のシュピーゲル誌の記事 „Mit KI gegen die Killerzellen“

1) 新型コロナウイルスの開発で成功したピオンテック社は獲得した豊富な資金を使い癌治療薬の開発に取り組んでいる。この開発にピオンテック社は AI を使用し、癌の生物学的特殊性や患者データを分析し、個々の癌患者に最適な治療法を特定するのに役立っている。

2) ピオンテック社は BNT122 と呼ばれる癌免疫療法に取り組んでいる。mRNA (メッセンジャー RNA) を患

者に投与することで患者の免疫システムを活性化し癌細胞を攻撃するように誘導することを目的としている。

3) BNT122 はすい臓がん患者 16 名に試したところ 8 名が 18 か月後完治した事例がある。

4) CAR-T 細胞療法: 患者の T 細胞を採取し特定の抗体を介して癌細胞を標的とする能力を強化し再び体内に戻す療法。ピオンテック社はこの療法の研究を行っている。

5) 癌治療法において、癌細胞は非常に複雑で 100% の完治は難しく 70% から 80% の完治を目指している。CAR-T 細胞療法と BNT122 のコンビネーションで治療効果の強化を目指し、30 年後には問題が解決できるとピオンテックの社長は確信している。

ドイツ語の表現をめぐる活発な議論があった。

(森永成一郎)

.....

ドイツ語圏文化セミナー 162

「ルートヴィヒ 2 世の欲望の世界を歩く」

6/21 (金) 19:00 ~ 21:00

日独協会セミナールーム (対面+オンライン)

Seminar 162 „Ein Spaziergang durch die Welt der Sehnsüchte von Ludwig II.“

Datum: Fr., 21. 6. 24, 19.00-21.00

Ort: Seminarraum der JDG (Hybrid Seminar)

このイベントのレポートは 10 月号に掲載予定です。

.....

懇談会サロン

「ドイツにおける動物行動学と動物心理学、と私」

6/24 (月) 18:00 ~ 19:30

日独協会セミナールーム

Gesprächssalon

„Tierverhalten und Tierpsychologie in Deutschland, und ich“

Datum: Mo., 24. 6. 24, 18.00-19.30

Ort: Seminarraum der JDG

講師: 渡辺茂様 (慶應義塾大学名誉教授・専門は比較認知神経科学)

参加 12 名。講師はハトを訓練してピカソの絵とモネの絵を区別させることに成功され、1995 年にイグ・ノーベル賞を受賞されました。ビーレフェルト大学に 10 年間、オットー・フォン・ゲーリケ大学に 5 年間小さな研究室を持ち、この間の体験をもとにドイツの動物行動学、動物心理学について大変興味深いお話を伺い、「動物行動学」や「動物心理学」という馴染みの薄い学問について、歴史を含め最新情報まで幅広く教えて頂きました。参加者からも様々な質問があり、さらに理解を深めることが出来ました。(木田 宏海)

※ 会場が書かれていないものはオンライン開催

若手会員のためのサマーパーティ

日時：2024年6月14日(金) 18:30～20:30 / 会場：ドイツ大使館事務棟

Sommerparty für junge Mitglieder

Datum: Fr., 14. 6. 24, 18.30-20.30 / Ort: Deutsche Botschaft in Tokio

ドイツ大使館でサマーパーティが開催され、全国の日独協会の若手会員（45歳以下）が招待されました。

開始時間の18時30分になるとたくさんの人が集まり、会場は熱気につつまれました。大使館のグロートフーゼン文化部長の挨拶に続き、フート公使が登壇され、若い会員の方々がドイツについてどんな関心を持っているかぜひお聞かせください、と語りかけられました。日独協会側からは柚岡常務理事が招待へのお礼を述べられ、乾杯後、ビュッフェと懇談が本格的に始まりました。

パーティには東京の会員だけでなく、各地の日独協会の会員の方々、ドイツ関連団体や学術団体で活躍する方が参加され、それぞれの活動について情報交換をしたり、新しいつながりをつくったりと、大いに交流を楽しんでいらっしゃいました。ここでできたつながりが、参加者それぞれの活動に刺激を与え、将来に良い影響があることを期待します。素晴らしい交流の機会を作ってください、周到にご準備くださったドイツ大使館の皆様によりお礼を申し上げます。参加者の方から感想をお寄せいただきました。下記にご紹介いたします。

ドイツ大使館主催 Sommerparty に参加して

山路 真由（名古屋日独協会）

ドイツ大使館主催で開催された Sommerparty に名古屋日独協会の協会会員として参加させていただきました。パーティーの冒頭では東京都とベルリンの友好都市提携30周年を記念して制作されたアート作品についての説明を拝聴しながら、日本とドイツを結ぶ一員としてパーティーに参加することができたことを改めて喜ばしく感じました。その後の交流タイムでは、さまざまな理由でドイツにご縁のある参加者さんと親睦を深めることができ、日本国内で「ドイツ」という共通点を通じて、新しい繋がりが生まれていくことを嬉しく思いました。

愛知県ではドイツに関連する行事が東京ほど多くはありませんが、ドイツに関心を寄せる若者が少ないというわけではありません。日本とドイツの架け橋となるような次世代の方々にバトンを渡していけるよう、愛知県も盛り上げていきたいと感じました。



左からフート公使ご夫妻、柚岡常務理事、グロートフーゼン文化部長
© German Embassy Tokyo



(写真上・下) 交流の様子
© German Embassy Tokyo

次につながる交流に

沼田 卓哉（仙台日独協会）

参加した方々の職業や出身地、ドイツとの関わりなどが実に多彩で、ドイツ語学習者の減少が言われて久しいなか、ドイツとドイツ語への関心がまだまだ衰えていないことを知り、心強く感じました。

一方、こうした交流イベントの難しさを改めて実感したのも事実です。というのも、参加者同士が交流を深めるためには、パーティーの時間、内容ともに十分ではなかったと思うからです。例えば、少人数のグループに分かれて各協会の活動を報告し、議論するワークショップのようなものがあったら、次につながる交流のきっかけになったのではないかと考えます。各協会が積み上げてきた交流実績を踏まえ、民間レベルの日独交流の未来をどう描いていけるか、今度はよりじっくりと、全国の会員の皆様と議論したいと思っています。



「日独協会」を介した新たな出会いと経験

佐々木 啓允（豊橋日独協会）

先日はドイツ大使館における Sommerparty に参加させていただきありがとうございました。広尾駅を降り、緊張しながらパスポートを出し、重たい扉を開け、初めてドイツ大使館に足を踏み入れました。目的を同じくした若者たちが盛んに交流し合う光景は、まさに圧倒的ポジティブな状況で、情報共有を願う人々で溢れていました。ドイツに深く関わっていらっしゃる方々と、ドイツの文化を感じ、ドイツの料理を味わいながら、日独協会というツールを介してこのような方々が集まれるというのは、私をはじめ多くの若者にとって大変貴重な機会であり、このような機会を提供いただいたことに改めて感謝申し上げます。今回の出会いと経験は今後の人生において財産となり、新たな挑戦のきっかけになると確信いたしました。

1. 業務運営

コロナ規制の緩和とともに、会員同士あるいは日独協会、独日協会との交流拡大を目指し、オンラインイベントに加え、対面イベントの実施やドイツ語講座の開講に取り組んだ。23 年度末の個人会員数は 594 人と前年度末から 8 人増加し、23 年度末の法人会員数は前年度末から 2 社減の 48 社となった。

2. 事業内容

(1) 会員にとって魅力ある多様な事業を実施し、広報活動を行った

- ①対面でのイベントを増やし、日独の会員同士の交流を促進した。また新入会員を対象とした懇親会を開催し、会員継続を促した。
- ②会員のニーズに即した懇談会サロン、時事問題研究会、キャリア形成のための新規のセミナーやドイツ語講座・文化交流イベントを実施し、会員継続や新規会員の勧誘を図った。
- ③機関誌「Die Brücke 架け橋」の編集委員会を定期的に開催し、テーマや特集として日独関係に関する時事問題や話題を取り上げ、読者の関心やニーズに応えることに努めた。会員の寄稿・投稿にも重点を置いた。

(2) 収益事業の改善に努めるとともに経費節減を図り、財政の健全化に尽力した

- ①オンライン及び対面で上半期ドイツ語講座 (24 講座)、ドイツ語夏期講習会 (12 講座)、下半期ドイツ語講座 (23 講座)、ドイツ語春期講座 (15 講座) を開催した。
- ②公益財団法人文京アカデミー開催のドイツ語講座及びドイツ文化セミナーの受託事業を実施した。
- ③賃料の値下げ交渉等によって管理費の節約に努めた。

(3) 関係機関とのパイプの強化を図った

- ①全国日独協会連合会総会を 4 年振りに開催し、フォン・ゲッツェ駐日ドイツ大使主催公邸レセプションに各地の日独協会役員が招待を受けた。
- ②ドイツ大使が主催する「夏祭り」では、各地から招かれた若手会員が親睦を深めた。
- ③近隣の湘南日独協会、千葉日独協会、横浜日独協会との協力関係を深めるために、オンラインや対面などで様々な講演会やイベントを共同企画・開催した。当協会はこれらの催しに参加できる機会を会員に提供した。
- ④ベルリン独日協会の協力の下、東京・ベルリン

3. 2023 年度の主な会議開催、主要事業実施日程等

(1) 主な会議開催と事務所休館日

- ①理事会の開催：
第 1 回 (5 月 26 日)、第 2 回 (11 月 24 日)、
書面理事会 (2 月 23 日)、第 3 回 (3 月 19 日)
- ②評議員会の開催：6 月 12 日(月)
- ③連続休暇：夏休み休暇 (8 月 14 日～ 26 日)、
冬休み休暇 (12 月 25 日～ 1 月 4 日)

(2) 2023 年度の主要事業実施日

- ① 4 月 9 日(日)～ 9 月 30 日(水)
オンラインドイツ語上半期コース実施
(一部対面、24 講座)
- ② 4 月 21 日(金)～ 22 日(土)
全国日独協会連合会年次総会開催 (東京)
- ③ 5 月 19 日(金)～ 20 日(土)
ドイツ独日協会連合会総会 (ハンブルク)
- ④ 7 月 22 日(土)～ 8 月 12 日(土)
ドイツ語夏期講習会実施 (12 講座)
- ⑤ 9 月 18 日 (月)
ドイツ大使主催「夏祭り」参加
(場所：ドイツ大使公邸)
- ⑥ 10 月 2 日(月)～ 3 月 29 日(金)
オンラインドイツ語下半期コース実施
(一部対面、23 講座)
- ⑦ 11 月 3 日(金)
ドイツフェスティバル (都立青山公園) 出展
- ⑧ 12 月 1 日(金)
クリスマスの集い (日立目白クラブ)
- ⑨ 1 月 6 日(土)
賀詞交換会
- ⑩ 1 月 23 日(火)～ 28 日(日)
日独 Manga コンクール
- ⑪ 3 月 2 日(土)～ 30 日(土)
ドイツ語春期講習会実施 (15 講座)



ドイツ大使主催「夏祭り」にて